

1 學藝142号について

- (1) 発行日 令和3年8月31日
- (2) 内容 新理事長挨拶・記念講演・総会資料・部活動紹介・懐かしの風景

2 學藝143号について

- (1) 発行予定日 令和3年12月
- (2) 主な内容・特集

① 支部紹介 区市自慢（写真1枚）

支部の活動を積極的にできない状況なので、各区市の状況と特色を写真と共に掲載する。

紹介文例↓

<p>渋谷区には区立小学校十八校、中学校八校、幼稚園五園があります。そのうち一校が小中一貫校です。支部の会員は六十三名、管理職は十三名です。</p> <p>渋谷と言えば、スクランブル交差点や原宿竹下通りが思い浮かぶことと思いますが、明治神宮や代々木公園が区の真ん中にあり、新宿御苑や神宮外苑の一部も渋谷区で、緑が豊かです。さらに開発の進む恵比寿地区、甲州街道沿いには古くからの商店街が健在です。</p> <p>そうした渋谷のよさを知り、さらによくしていこうというシブヤ科の学習が全小中学校で今年度から始まりました。「科」と付いていますが、特別な教科ではなく、総合的な学習の時間の中に組み込まれています。ある学校では地元のアパレル企業と連携して地域を盛り上げる商品を開発しています。また、ある学校では毎年話題になる渋谷のハロウィンの改善策を考え、区長に提案しました。地域を盛り上げ、地域に愛着をもたせることでシブヤプライドを育んでいます。</p> <p>渋谷区のもう一つの特色はタブレットの活用です。GIGAスクール構想に先立ち、平成二十九年の秋に一人一台タブレットが配付されました。配備されてから五年目を迎え、子供たちは教科書やノートと同様にタブレットを日常的に活用しています。学習者用デジタル教科書も今年度から導入されました。教職員への配備も同様で、教室、職員室、校外でも使えるオールインワンのタブレットとクラウドのお陰で、自宅でも学校と同様の事務作業を行うことができます。自宅からオンラインで会議にも参加できるなど、タブレットを活用して働き方改革が進められています。</p> <p>教育長も会員、森理事長の出身区でもありながら、支部総会や歓送迎会などに行えない状況です。落ち着いてきたら、盛り上げていきたいと思っています。</p>	<p style="text-align: center;">渋谷区の紹介</p> <p style="text-align: right;">渋谷支部長 荒木憲秀 (渋谷区立笹塚小学校)</p>
---	--



竹下通りでの地域学習

- ② 小金井祭の様子と小金井祭実行委員会
コロナ禍の中の小金井祭、今年はオンラインで行うとのこと。その様子と小金井祭実行委員会の工夫と努力を載せる。
- ③ 研究紹介
令和4年1月以降に開催される研究発表会を4つと附属幼稚園・学校の研究発表会の一覧を掲載する。
- ④ 大学の門札と吉田水辺公園
吉野尚也元理事長が刻字して寄贈した大学の門札と吉田竹早学園元理事長が水車・小川周辺を作庭された吉田水辺公園について掲載する。